

2019年度「みどりとふれあうフェスティバル」に出展しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林保険センター

新緑が青空に映え、お出かけ日和となった令和元年5月11日～12日の両日に、都内の日比谷公園において「みどりとふれあうフェスティバル」が開催されました。

（主催：農林水産省・林野庁、東京都、
（公社）国土緑化推進機構等）



本フェスティバルは、4月15日～5月14日「みどりの月間」期間中の各種緑化行事の締めくくりとなる第29回「みどりの感謝祭」の式典併催行事として、開催されました。

テーマ「森の恵みと木の温もりを五感でふれて、癒やされよう！」のもと、多数の企業・団体・地方公共団体が参加するなか、森林保険センターも「木の葉を使ったオリジナルはがき作りコーナー」と「わなげコーナー」、森林保険のご案内やスタンプラリーについて出展しました。



「木の葉を使ったオリジナルはがき作りコーナー」では、参加者の皆様の想像力あふれる思い思いの作品や、「母の日」に贈る作品など、どれもお手本にしたいほどの素敵なはがきに仕上がりました。

「わなげコーナー」では、真剣に何度もチャレンジする子供たちや、意外と難しいと久しぶりにわなげを楽しむ大人の方まで、多くの方に楽しんでいただきました。

また、森林保険のキャラクターシールやパンフレットをお渡ししながら森林保険のご説明もいたしました。

今後も、このような森林や木に親しむ活動を通じ、多くの皆様に森林保険について知っていただけるよう努めてまいります。





【ブースにお立ち寄りいただき、ありがとうございました】

これからも森林保険をよろしくお願いします！



加入してよかった！
森林保険

森林保険

イメージキャラクターマモルくん